

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2022年6月～2023年4月】

株式会社 野口製作所

《ご挨拶》

私たち野口製作所は昭和42年の設立以来、金属プレス加工を通して御客様の課題を解決する提案型企業として成長して参りました。現在は電子機器部品、医療用部品、車載部品と幅広い市場ニーズにお応えする部品製作をしております。

私たちが大切にしているのは、御客様の課題に共に悩み、解決のための最適解を提案するきめ細かいサービスです。御客様の伴走者として共に成長していくことが最大の喜びだと考えています。

そのためにも、まずは社員一人ひとりが人間力を鍛え、正しい判断で御客様へ寄り添える人財の育成が何よりも大切だと感じ、日夜人財育成に努めております。

これからも私たちは人を大切にしたものづくり企業として、この富岡市から世界中の御客様に向けて期待を超える価値を提供していきます。

株式会社野口製作所

代表取締役社長

野口 大輔

《目次》

1. 組織の概要	P-1
2. 対象範囲	P-1
3. 環境経営方針	P-2
4. エコアクション21 推進組織図	P-3
5. 環境経営目標・計画	P-4
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P-5
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P-6・7
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P-8
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-8

1. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

株式会社 野口製作所
代表取締役社長 野口 大輔

2. 所在地

〒370-2462 群馬県富岡市下丹生1494-3

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 野口 大輔
環境管理責任者 : 田村 竜治
担当 : E A 2 1 事務局 イソイソ委員会
TEL : 0274-63-7131
FAX : 0274-67-5511

4. 事業の内容

金属プレス加工

5. 事業規模

活動規模	単位	2021年	2022年
売上高	百万円	317	225
従業員数	人	24	25
延べ床面積	m ²	1,526	1,526

2. 対象範囲

1. 対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社野口製作所 全組織及び全活動

3. 環境経営方針

〔基本理念〕

日々の経済活動が持続可能な社会の実現につながるよう、企業も個人も自らの役割を認識し、次世代のために責任ある「1歩 よりも100歩進む対策」を取っていきます。

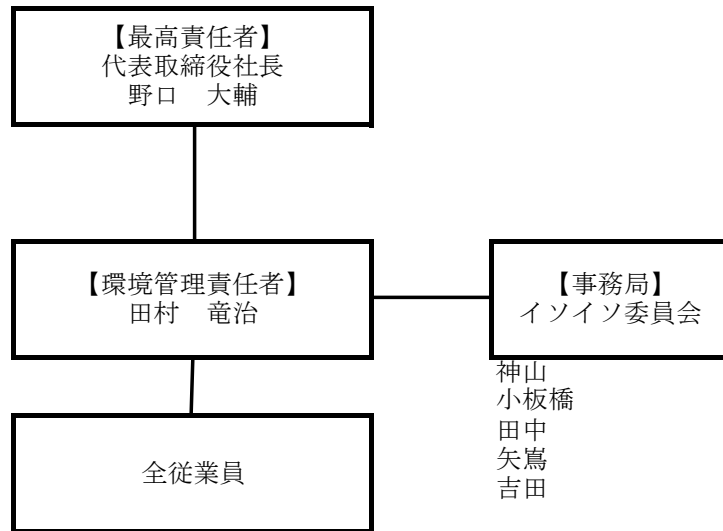
〔基本方針〕

- ・私たちは事業活動に伴う環境負荷を低減するために、次の活動を積極的に推進すると共に、技術革新を図って行きます。
 - 1) 化石燃料製品の使用削減
 - 2) 再生可能エネルギーの積極的使用
 - 3) 事業廃棄物削減
 - 4) 電子化、デジタル化の推進
- ・環境関連法規制その他を遵守し、サステイナブルな社会を実現します。

2022年 6月 1日

株式会社 野口製作所
代表取締役
野口 大輔

4. エコアクション21 推進組織図



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 野口 大輔】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③環境方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【田村 竜治】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するためにイソイソ委員会の中の部会として運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【イソイソ委員会】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
イソイソ委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

5. 環境経営目標・環境経営計画

環境経営目標					環境経営計画	
項目	基準年 (実績)	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標	実施事項	
1	売り上げ 100万円 当り二酸化 炭素排出 量の削減	2021年 (491.21 kg- CO2/100 万円)	2021年度 に対して 1%減	2022年度 に対して 1%減	2023年度 に対して 1%減	①空調温度適正化・表示 ②不良数の集計と削減 ③エアコン清掃の実施 ④設備の点検・整備 ⑤社用車の点検・整備 ⑥電力、ガソリン量の集計 ⑦目標達成状況・活動進捗状況確認
2	売り上げ 100万円 当り廃棄 物排出量 の削減	2021年 (61.5kg- CO2/100 万円)	2021年度 に対して 1%減	2022年度 に対して 1%減	2023年度 に対して 1%減	①廃棄・分別ルールの徹底 ②有価物の細分化の徹底 ③廃棄物排出量の集計 ④産廃業者の許可証の確認 ⑤産廃排出量の届出 ⑥目標達成状況・活動進捗状況確認
3	従業員1 人当たりの 水使用量 の削減	2021年 (11.83 m ³ /人)	2021年度 に対して 1%減	2022年度 に対して 1%減	2023年度 に対して 1%減	①使用量の監視・啓蒙活動
4	化学物質 の使用削減	使用量の 管理・保管 管理の 徹底	使用量の 管理・保管 管理の 徹底	使用量の 管理・保管 管理の 徹底	使用量の 管理・保管 管理の 徹底	①使用量の管理・保管管理の徹底
5	本業に 関する 目標	①不良廃棄品 前年比10%減				

*購入電力の排出係数は、0.452kg-CO2/kWh【東京電力エナジーパートナー（株）】を使用しています。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

空調温度適正化・表示



節水表示



エコドライブ・アイドリングストップの省エネ



製造現場での取組内容（廃棄物の分別ルール掲示・スクラップ分別ルール掲示）



7. - 1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標					環境経営計画	
項目	基準年 (実績)	2022年度 目標	2022年度 実績値	目標の達成 状況	実施事項	評価
1 売り上げ 100万円当 り二酸化 炭素排出 量の削減	2021年 (491.21kg- CO2/100 万円)	2021年度 に対して 1%減	540.83Kg- CO2/100 万円 +10.1%	未達成	①空調温度適正化・表示	○
					②不良数の集計と削減	○
					③エアコン清掃の実施	○
					④設備の点検・整備	○
					⑤社用車の点検・整備	○
					⑥電力、ガソリン量の集計	○
					⑦目標達成状況・活動進捗状況確認	△
2 売り上げ 100万円当 り廃棄物 排出量の 削減	2021年 (61.51kg- CO2/100 万円)	2021年度 に対して 1%減	78.73Kg- CO2/100 万円 +27.9%	未達成	①廃棄・分別ルール of 徹底	○
					②有価物の細分化の徹底	○
					③廃棄物排出量の集計	○
					④産廃業者の許可証の確認	○
					⑤産廃排出量の届出	○
					⑥目標達成状況・活動進捗状況確認	△
3 従業員1人 当たりの 水使用量 の削減	2021年 (11.83m ³ / 人)	2021年度 に対して 1%減	9.96m ³ /人 -15.8%	達成	①使用量の監視・啓蒙活動	○
4 化学物質の 使用削減	使用量の管理・保管管理の徹底	使用量の管理・保管管理の徹底	使用量の管理・保管管理の徹底	達成	①使用量の管理・保管管理の徹底	○
5 本業に関する目標	①不良廃棄品 前年比10%減					○

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2021年	2022年（環境活動レポート対象期間）
①二酸化炭素排出量（kg-CO ₂ ）	155,714	121,688
②廃棄物排出量(kg)	19,500	17,715
③水資源投入量（m ³ ）	284	249

7. - 2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標					環境経営計画	
項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	実施事項	
1	売上げ 100万円 当り二酸化 炭素排出 量の削減	2022年 (540.83 kg- CO2/100 万円)	2022年度 に対して 1%減	2023年度 に対して 1%減	2024年度 に対して 1%減	①空調温度適正化・表示 ②不良数の集計と削減 ③エアコン清掃の実施 ④設備の点検・整備 ⑤社用車の点検・整備 ⑥電力、ガソリン量の集計 ⑦目標達成状況・活動進捗状況確認
2	売上げ 100万円 当り廃棄 物排出量 の削減	2022年 (78.73kg - CO2/100 万円)	2022年度 に対して 1%減	2023年度 に対して 1%減	2024年度 に対して 1%減	①廃棄・分別ルール of 徹底 ②有価物の細分化 of 徹底 ③廃棄物排出量の集計 ④産廃業者の許可証の確認 ⑤産廃排出量の届出 ⑥目標達成状況・活動進捗状況確認
3	従業員1 人当たり の水使用 量の削減	2022年 (9.96m ³ / 人)	2022年度 に対して 1%減	2023年度 に対して 1%減	2024年度 に対して 1%減	①使用量の監視・啓蒙活動
4	化学物質 の使用削 減	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	使用量の 管理・保 管管理の 徹底	①使用量の管理・保管管理の徹底
5	本業に関 する目標	①不良廃棄品 前年比10%減				

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

引続き、環境経営目標及び環境経営計画を徹底いたします。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
フロン排出抑制法	3カ月/1回簡易点検の実施	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

2023年5月31日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2022年度の活動は、コロナ禍の影響による大幅な受注数減少により、生産効率の低下を招いてしまった。
その結果、電力をはじめとするエネルギーの使用量は、対前年度比77.3%と減少したが、対売上高ベースで10.1%増加となった。主に電力に対する影響は空調・コンプレッサーと生産機の稼働量にあまり影響されず、連続的に稼働している機器だけの低下を招いた。
廃棄物の増加は、一般廃棄物が前年対比33%増となった。これは、受注数減少に伴い生産活動が減少し工数過多を調整すべく5S活動にリソースを割いた。整理整頓による不用品の廃棄によって一時的に増えてしまった。来期には5Sによって整備された工場運営による活動で、目標値の達成をめざす。